

2025年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明会

JKホールディングス(株) (9896)

代表取締役社長 青木 慶一郎

2024年11月21日



JK Holdings Co.,Ltd.



エグゼクティブサマリー

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概況

業績

売上高	1,907 億円	前期同期比 0.2%減 ↓
経常利益	34 億円	前期同期比 21.1%減 ↓
親会社株主に帰属する 中間純利益	19 億円	前期同期比 20.0%減 ↓

・売上高は1,907億34百万円（前年同期比0.2%減）と、ほぼ前年並みを維持しました。

・利益面では、総合建材卸売事業及び総合建材小売事業が減益ながらも堅調に推移する一方、合板製造・木材加工事業が赤字となったことなどから、全体として減益となりました。

・前年同期との比較では減収減益にはなりましたが、「ウッドショック」前との比較では売上、利益とも一段高い水準を維持しております。

通期計画（期初に発表した業績予想）

売上計画	4,000 億円	計画進捗 47.7%
経常利益計画	70 億円	計画進捗 49.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益計画	50 億円	計画進捗 39.4%

配当

	2024年3月期 実績	2025年3月期 (予想)
中間配当	15 円	20 円
期末配当	25 円	25 円
年間配当	40 円	45 円

連結売上高・粗利率 推移

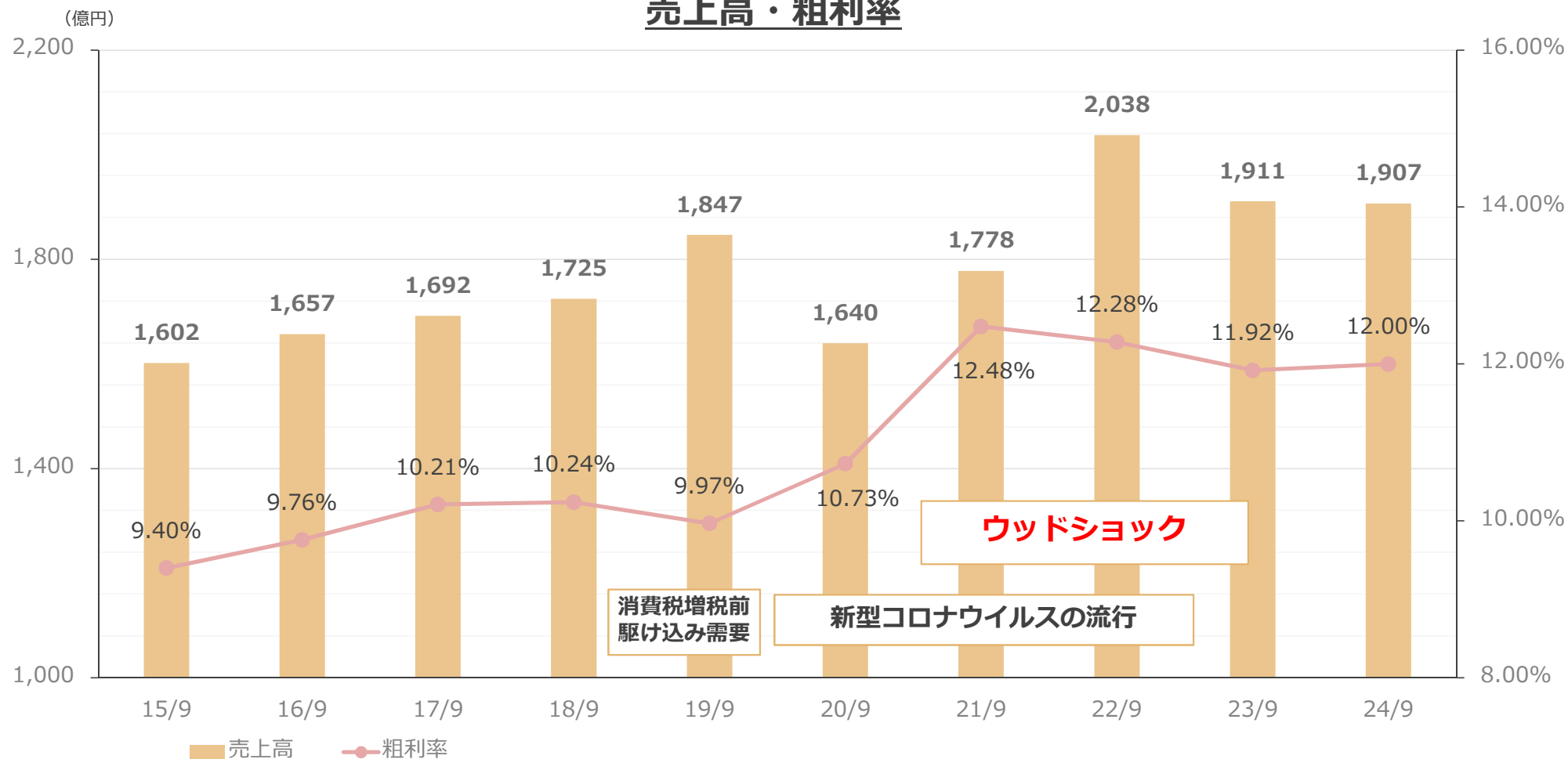


JK Holdings Co., Ltd.

ウッドショック前の業績と比較すると、売上・粗利率とも一段高い水準を維持！！

【要因】①M&Aによる売上高の増加（過去5年で20件以上実施）②ジャパン建材等の売上高の増加、粗利率の向上

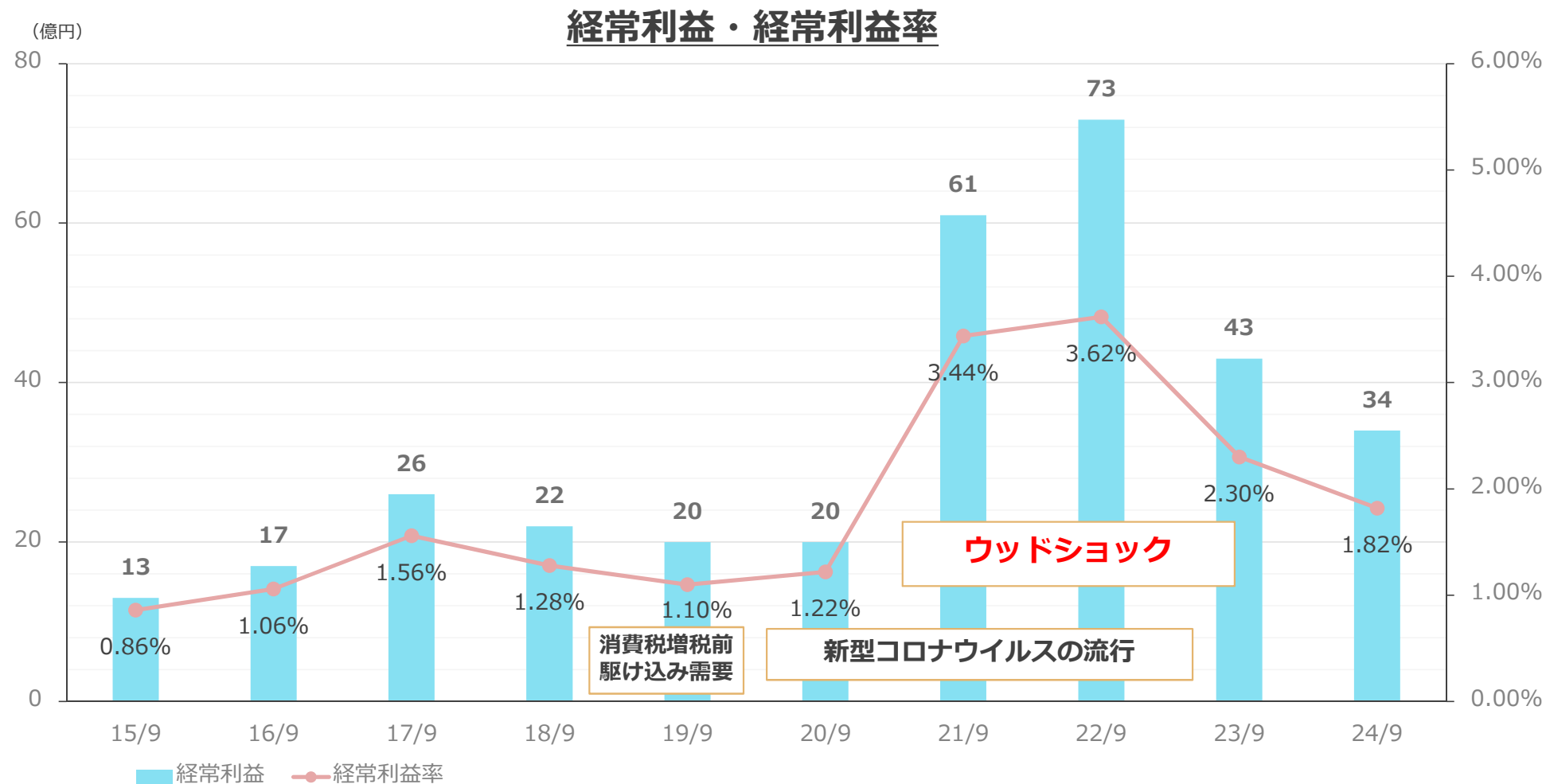
売上高・粗利率



連結経常利益・経常利益率 推移

ウッドショック前の業績と比較すると、経常利益・経常利益率とも一段高い水準を維持！！

【要因】①ジャパン建材等の売上高の増加、粗利率の向上 ②M & Aによる利益の増加（過去5年で20件以上実施）



JKホールディングス(株)について	7ページ
-------------------	------

業界および同業他社について	11ページ
---------------	-------

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要	17ページ
--------------------------	-------

中長期経営計画について	24ページ
-------------	-------

補足資料	35ページ
------	-------



J Kホールディングス(株)について

(1) 会社概要



JK Holdings Co.,Ltd.

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

当社グループは、住宅建築資材の流通業を主要事業とし、「快適で豊かな住環境の創造」という企業理念の下、より良い住宅資材を、適正価格で、お客様の要望される場所にお届けすることを目標に、営業活動を展開しております。

また、単にモノを販売するだけでなく、お客様に経営のノウハウを提供することで、お客様との共存共栄を図る仕組みづくりにも取り組んでおります。

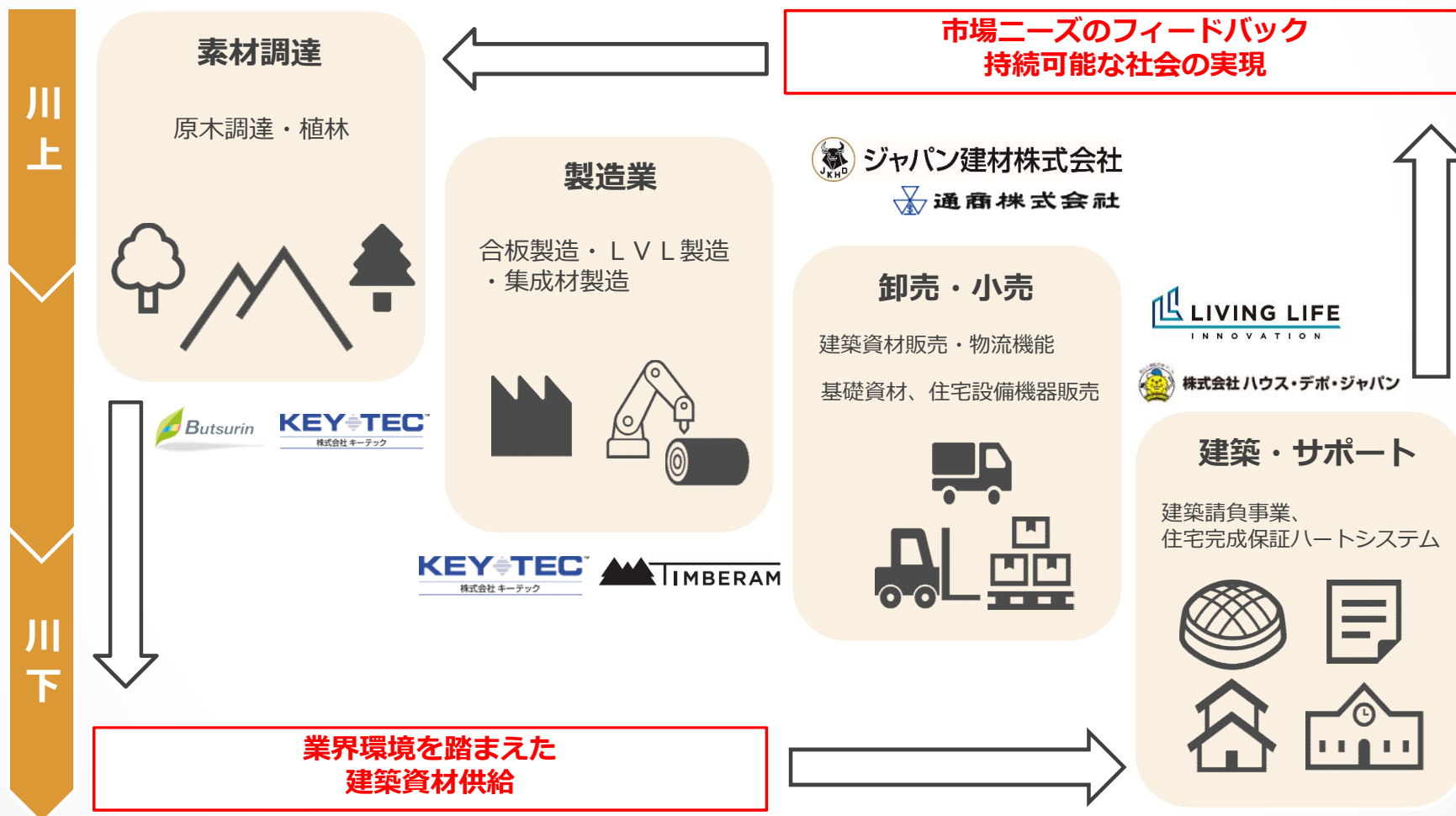
基本情報（2024年9月30日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 12社 ② 合板製造・木材加工事業 7社 ③ 総合建材小売事業 17社 ④ その他 21社 計 57社
従業員数	3,407名（連結）		

(2) JKホールディングスグループ事業概要



JK Holdings Co.,Ltd.



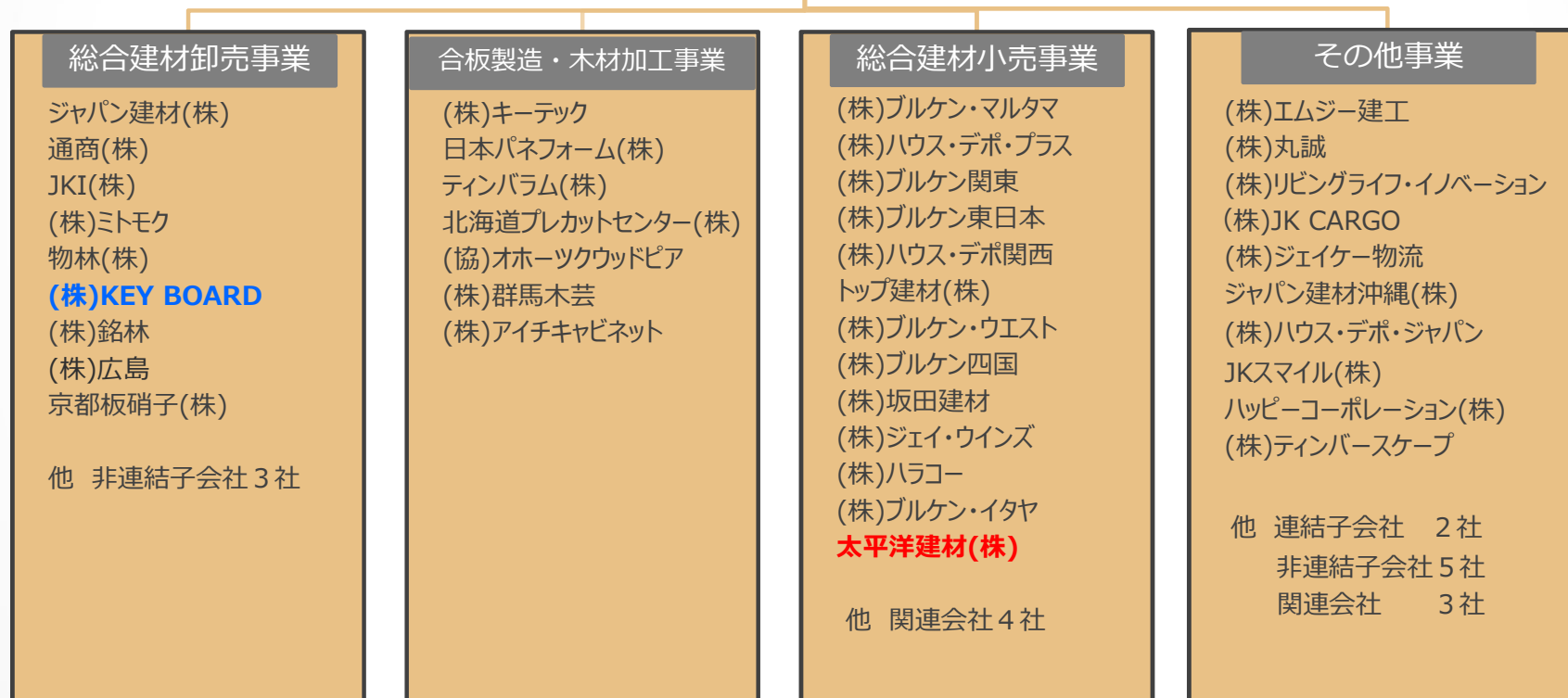
(3) グループ企業一覧



JK Holdings Co., Ltd.

純粋持株会社であるJKホールディングス(株)の下、住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社として、住宅関連企業をグループ傘下に展開しています。

(2024年9月30日現在)



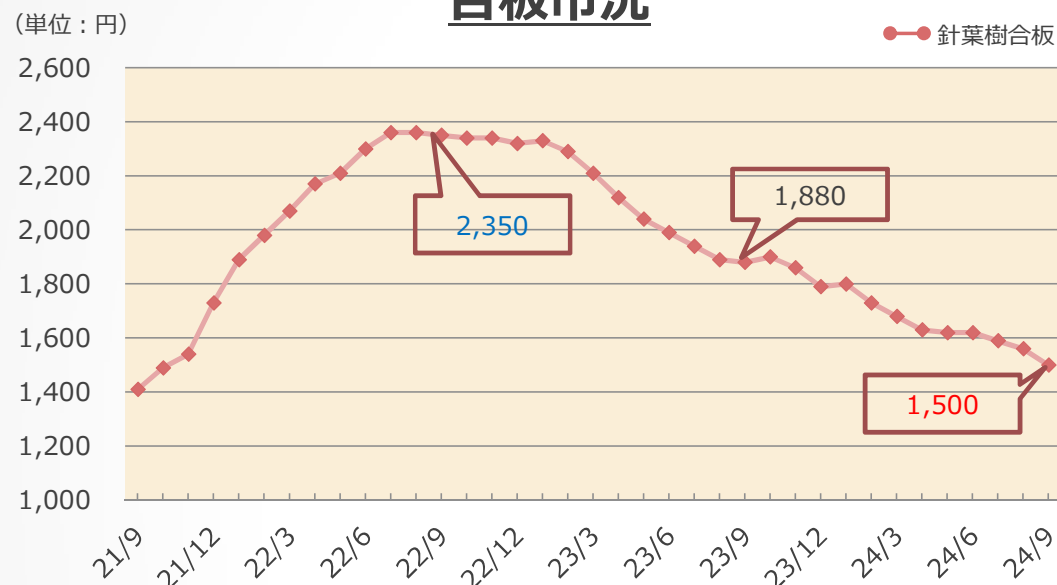
※赤文字は2025年3月期に新たにグループに加わった会社、青文字はグループ内組織再編を実施した会社です。



業界および同業他社について

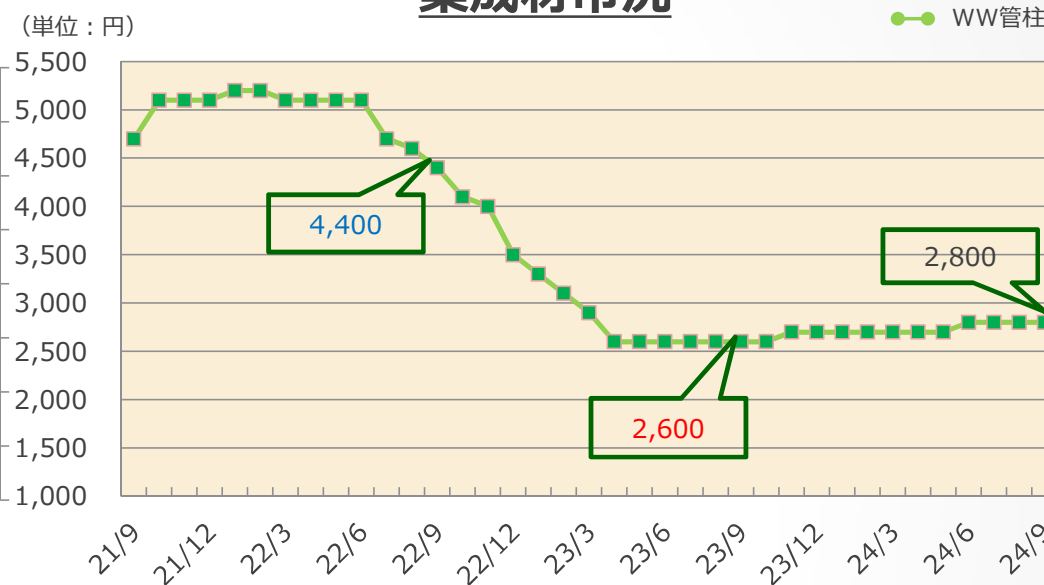
(1) 事業環境 – 合板・集成材市況と為替レート推移

合板市況



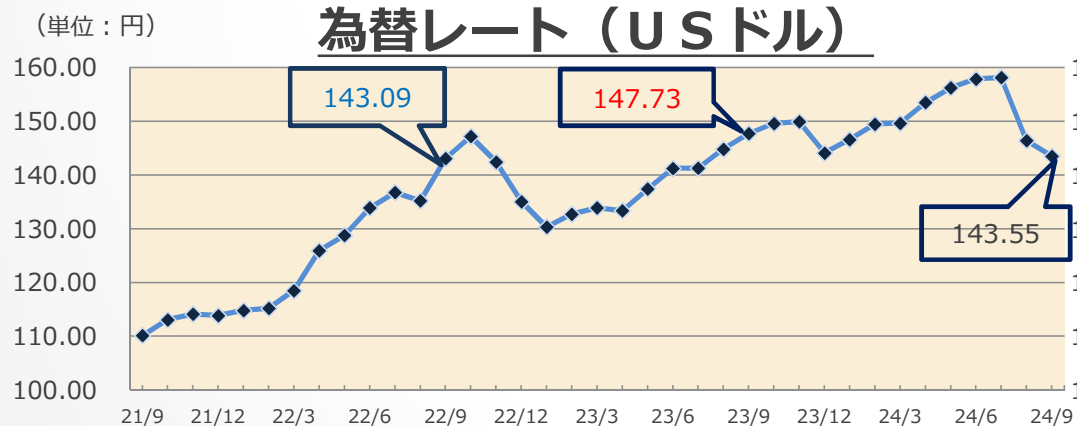
(注) 農林水産省統計 全国平均価格針葉樹合板 (厚12mm、幅910mm、長さ1820mm、1類)

集成材市況



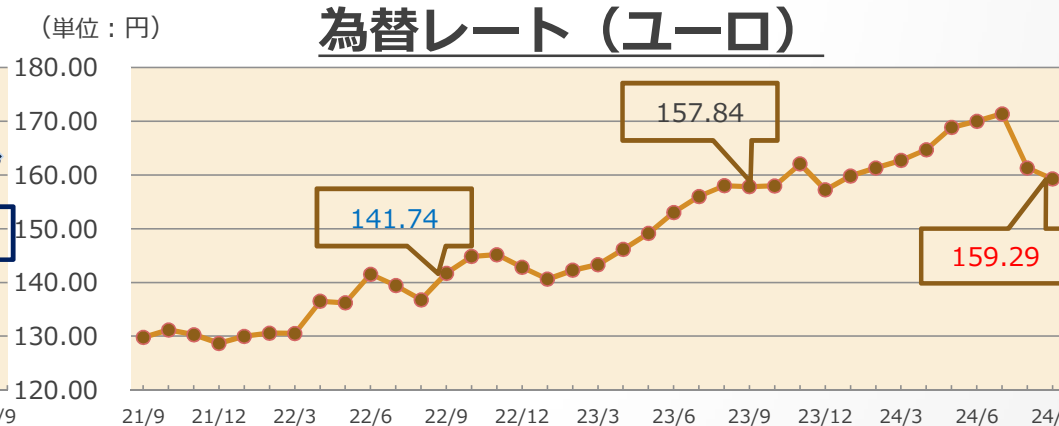
(注) 農林水産省統計 全国平均価格ホワイトウッド集成管柱 (厚105mm、幅105mm、長さ2980~3000mm、1等)

為替レート (USドル)



(注) 三菱東京UFJ銀行 公表相場TTM

為替レート (ユーロ)



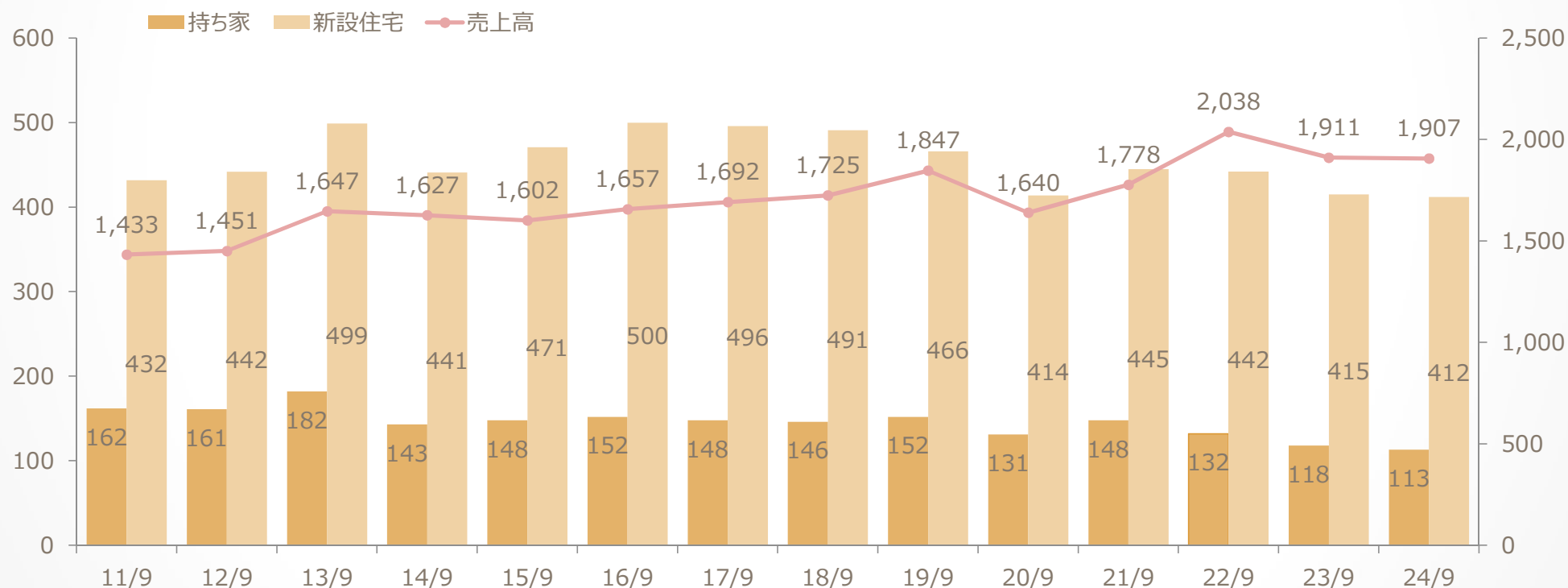
(2) 第2四半期（中間期） 住宅着工戸数 推移

住宅着工

建材や住宅設備の価格上昇に加え、2024年問題等から運賃、労賃も上昇しており、住宅価格は高騰しております。新設住宅着工戸数は前年同期比0.8%減と横這いだったものの、当社グループが主力とする持ち家では、4.9%の減少となっております。このような状況下でも**弊社の売上高は前年並みを維持**しております。

(単位：千戸)

(単位：億円)

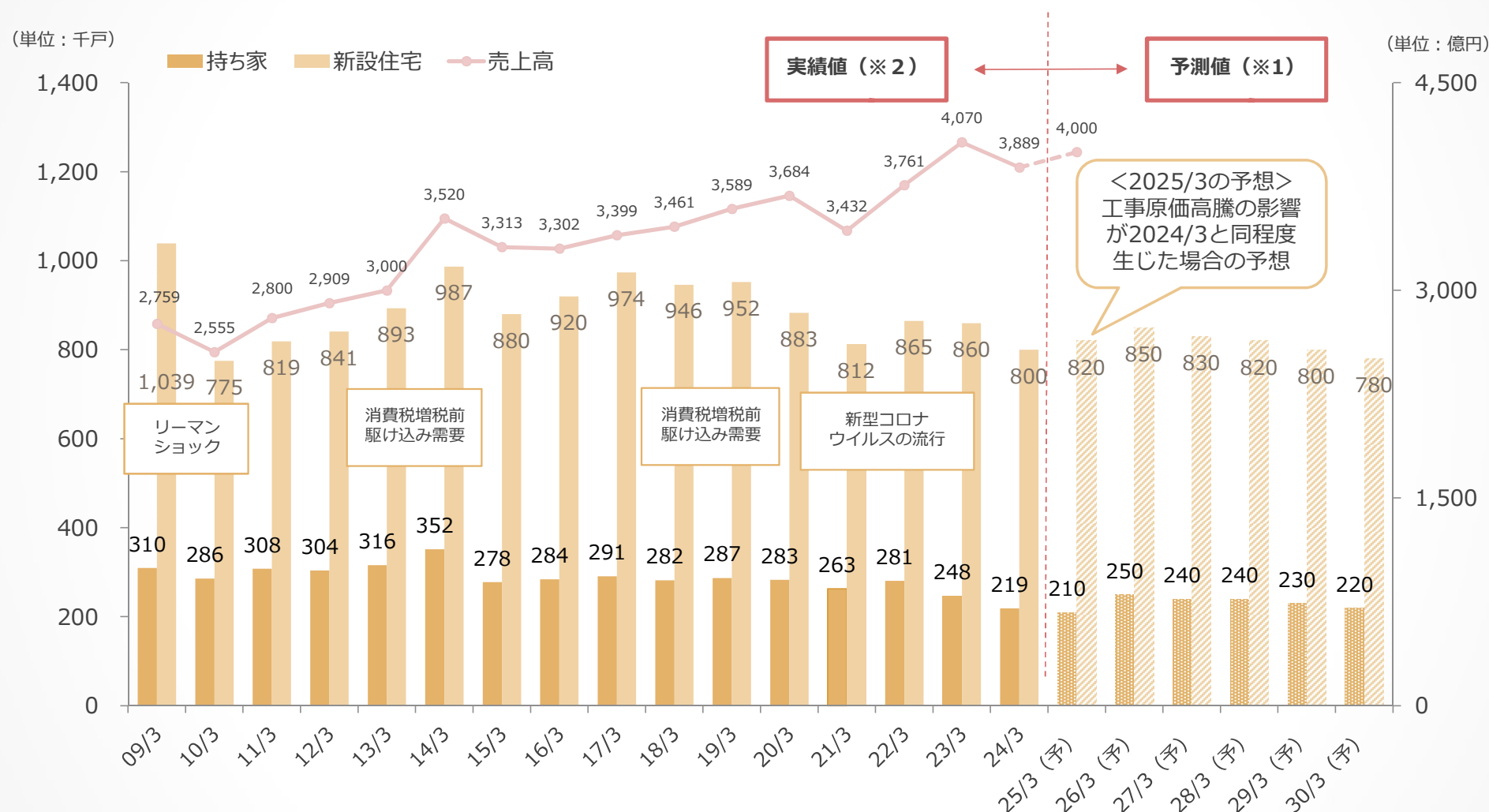


出典：住宅着工数 国土交通省 建築着工統計調査報告

(参考) 住宅着工戸数 推移



JK Holdings Co.,Ltd.



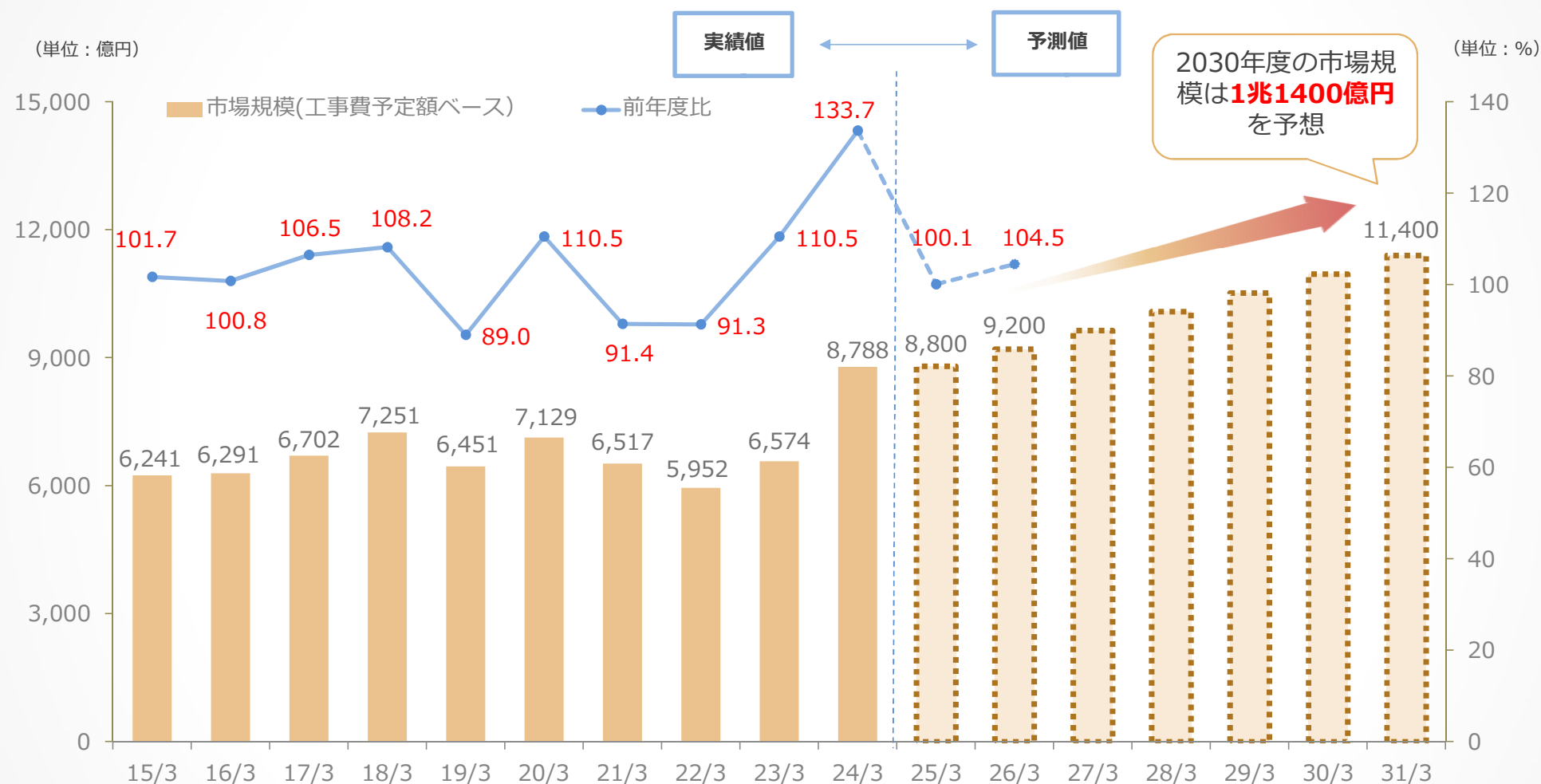
出典：※1 野村総合研究所のデータをもとにJKホールディングス㈱が作成（2024年6月13日公表）

※2 国土交通省 建築着工統計調査報告

(3) 非住宅木造建築市場規模推移



JK Holdings Co., Ltd.



出典：(株)矢野経済研究所「非住宅木材市場に関する調査（2022年10月6日、2024年10月23日発表分より）」

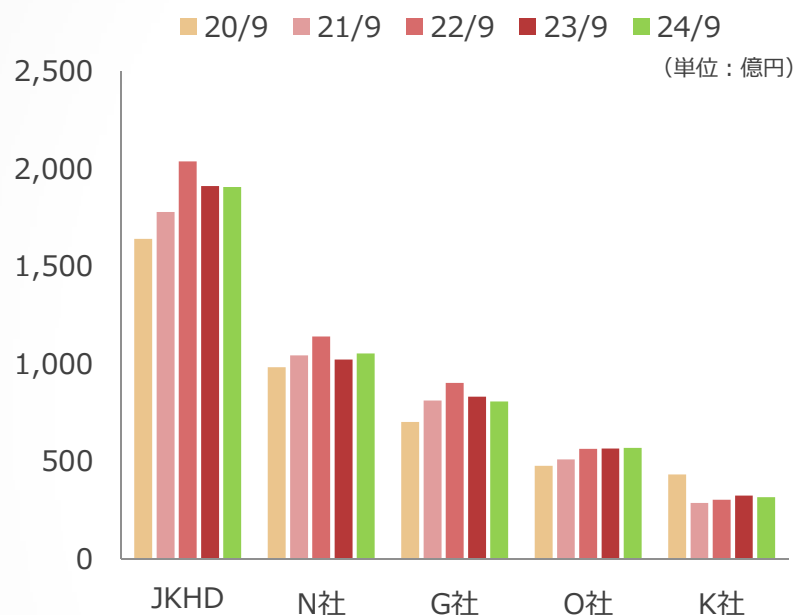
注：独立行政法人統計センターによる国土交通省「建築着工統計」のオーダーメード集計データを基に矢野経済研究所推計（なお、2014～2023年度の実績データは統計法に基づいて、独立行政法人統計センターから「建築着工統計」（国土交通省）のオーダーメード集計により提供を受けた統計成果物を基にしており、国土交通省が作成・公表している統計等とは異なります）。非住宅木造市場とは、国土交通省「建築着工統計調査」の分類における「産業用建築物（事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎、病院・診療所、その他の 合計）」で「木造」構造の建築物を対象とし、市場規模は建築着工ベースにおける床面積および工事費予定額にて算出。

(4) 同業他社との業績比較

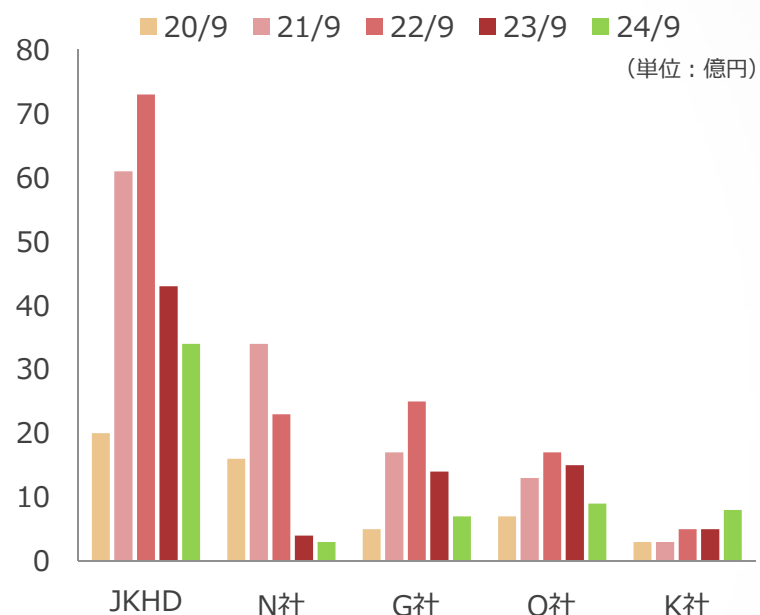


JK Holdings Co., Ltd.

■ 売上高



■ 経常利益



■ 前期比較（増減率）

	JKHD	N社	G社	O社	K社
売上高	▲0.2%	3.2%	▲3.0%	0.6%	▲2.2%
経常利益	▲21.1%	▲33.7%	▲46.9%	▲38.0%	46.0%



2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

(1) 連結業績

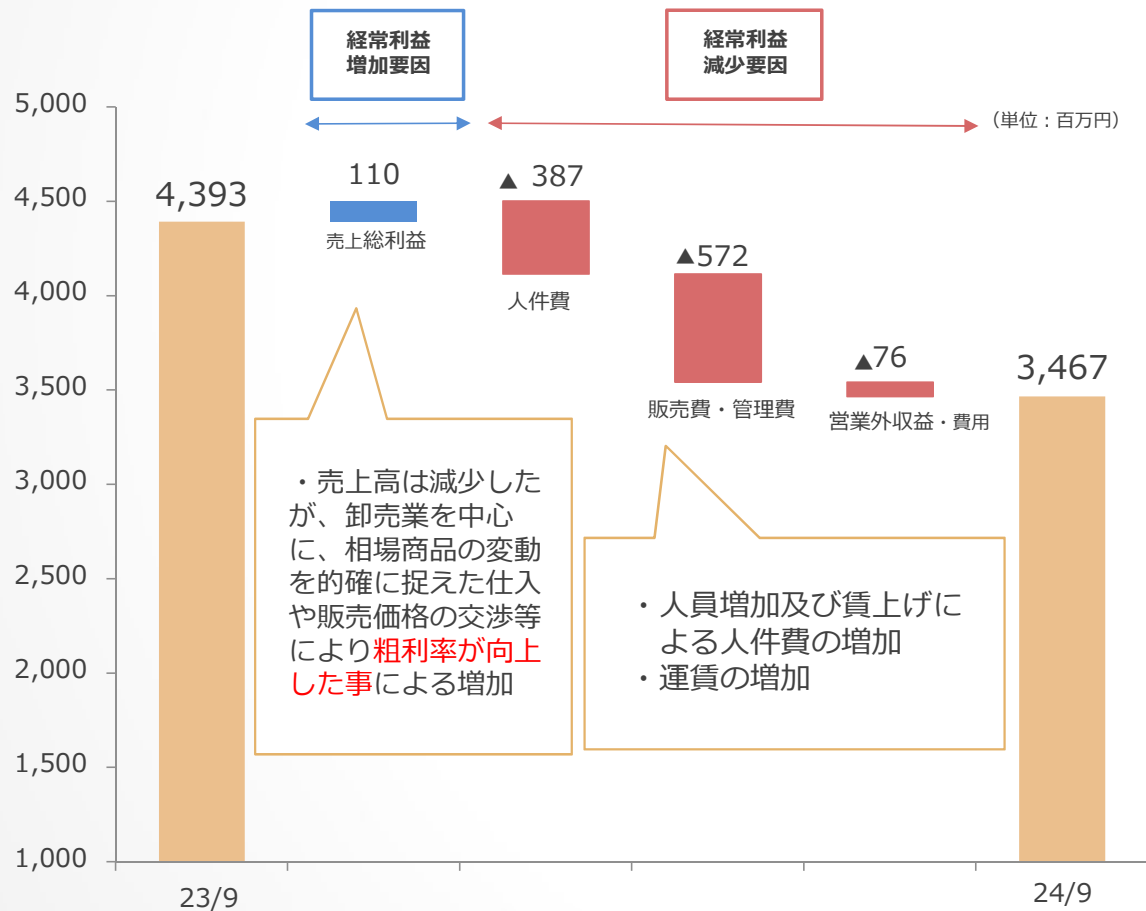


JK Holdings Co., Ltd.

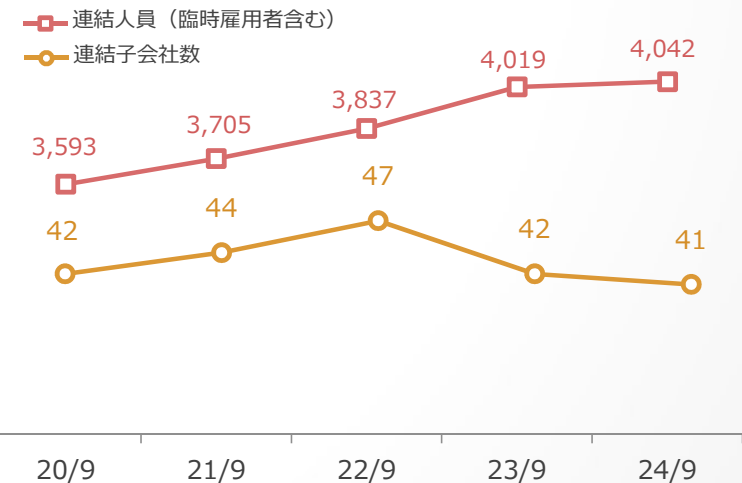
(百万円)	2024年9月期 中間計画 (期初に発表した業績予想)	2024年9月期	2023年9月期	計画比 (%)	前年比 (%)
売上高	193,000	190,734	191,165	▲1.2%	▲0.2%
売上総利益	—	22,895	22,785	—	0.5%
(粗利率%)	—	12.0%	11.9%		
販管費	—	19,611	18,651	—	5.1%
営業利益	3,500	3,283	4,133	▲6.2%	▲20.6%
経常利益	3,500	3,467	4,393	▲0.9%	▲21.1%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	2,500	1,969	2,460	▲21.2%	▲20.0%

(2) 利益増減分析

連結経常利益増減



	主要販管費増減内訳		
	23/9	24/9	増減比率
人件費	10,883	11,271	3.6%
販売費	4,152	4,428	6.6%
管理費	3,615	3,911	8.2%
合計	18,651	19,611	5.1%



(3) キャッシュフローの状況



JK Holdings Co., Ltd.

(百万円)	2023年9月期	2024年9月期	前年差
営業キャッシュフロー	12,663	▲ 4,019	▲ 16,683
売上債権の増減額（▲は増加）	▲ 945	5,175	6,120
棚卸資産の増減額（▲は増加）	4,377	▲ 866	▲ 5,244
仕入債務の増減額（▲は減少）	7,060	▲ 10,863	▲ 17,923
投資キャッシュフロー	▲ 1,613	▲ 917	696
固定資産の取得による支出	▲ 928	▲ 673	255
事業譲受による支出	▲ 716	—	716
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	▲ 415	▲ 415
財務キャッシュフロー	▲ 1,800	▲ 4,005	▲ 2,204
短期借入金の純増減額（▲は減少）	▲ 532	▲ 2,479	▲ 1,946
長期借入れによる収入	4,257	3,710	▲ 547
長期借入金の返済による支出	▲ 4,580	▲ 4,282	297
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	6,000	6,000	0
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	▲ 6,000	▲ 6,000	0
配当金の支払額	▲ 723	▲ 722	0
現金及び現金同等物の中間期末残高	51,628	47,225	▲ 4,402

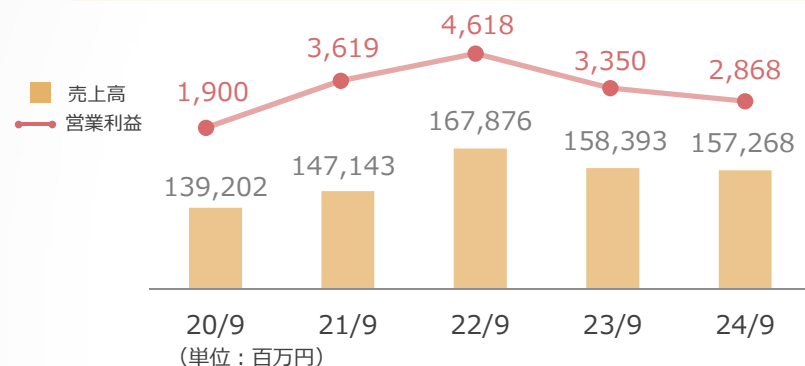
(4) 事業別の売上高・営業利益推移



JK Holdings Co., Ltd.

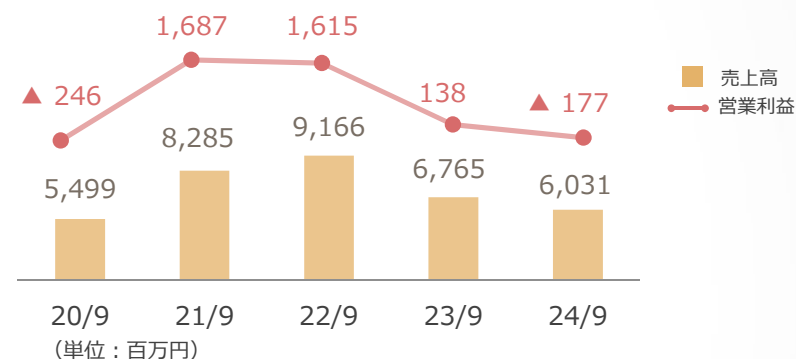
① 総合建材卸売事業

中核のジャパン建材(株)をはじめ、売上のボリュームを確保しつつ、相場商品の変動を的確に捉えた仕入や販売価格の交渉等に努め、売上は前年同期をほぼ維持し、粗利率も向上しましたが、運賃や人件費の増加を埋めきれず減益となりました。



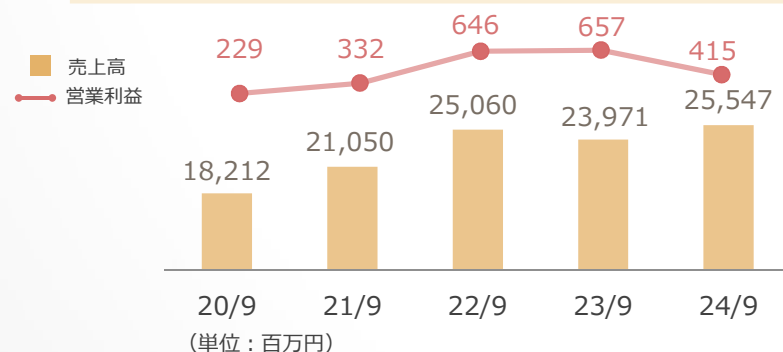
② 合板製造・木材加工事業

中核の(株)キーテックは、主力のキーラム事業で増収増益も、国産合板の市況軟化により同社全体で減収減益となりました。ティンバラム(株)は、長引く製品価格下落により厳しい状況が続いていますが、グループを挙げての販売協力や在庫圧縮等を継続しており、減収ながら増益となりました。

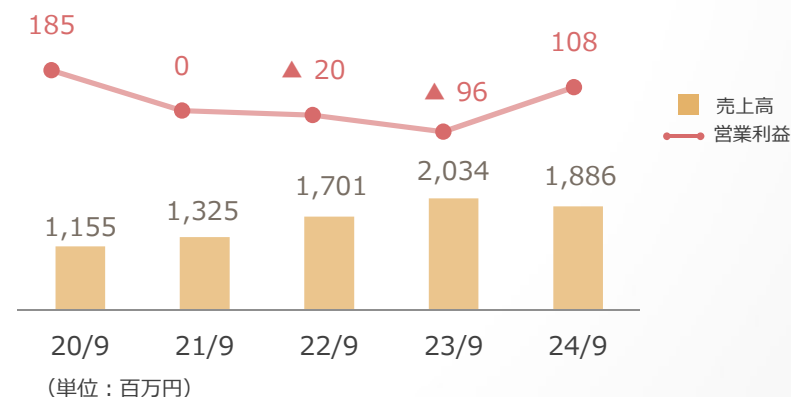


③ 総合建材小売事業

2024年5月に、大阪府を中心に内装材・外壁材の販売事業を営む太平洋建材(株)を新たに子会社としました。適宜組織再編を実施し、各地の事業承継ニーズに応えながら、グループのネットワークをダイナミックに拡大しております。



④ その他



(5) バランスシートの状況

(百万円)	2024年3月期	2024年9月期	増減
資産	234,564	222,133	▲ 12,431
現金及び預金	56,666	47,610	▲ 9,056
売上債権及び契約資産	86,316	81,806	▲ 4,510
棚卸資産	16,691	17,622	931
固定資産	72,397	73,083	686
負債	171,456	157,902	▲ 13,553
仕入債務	117,156	106,653	▲ 10,502
有利子負債	38,318	36,010	▲ 2,308
自己資本	61,043	62,134	1,091
その他有価証券評価差額金	1,947	1,908	▲ 39
(自己資本比率%)	26.0 %	28.0 %	

(6) 利益処分に関する基本方針及び配当金

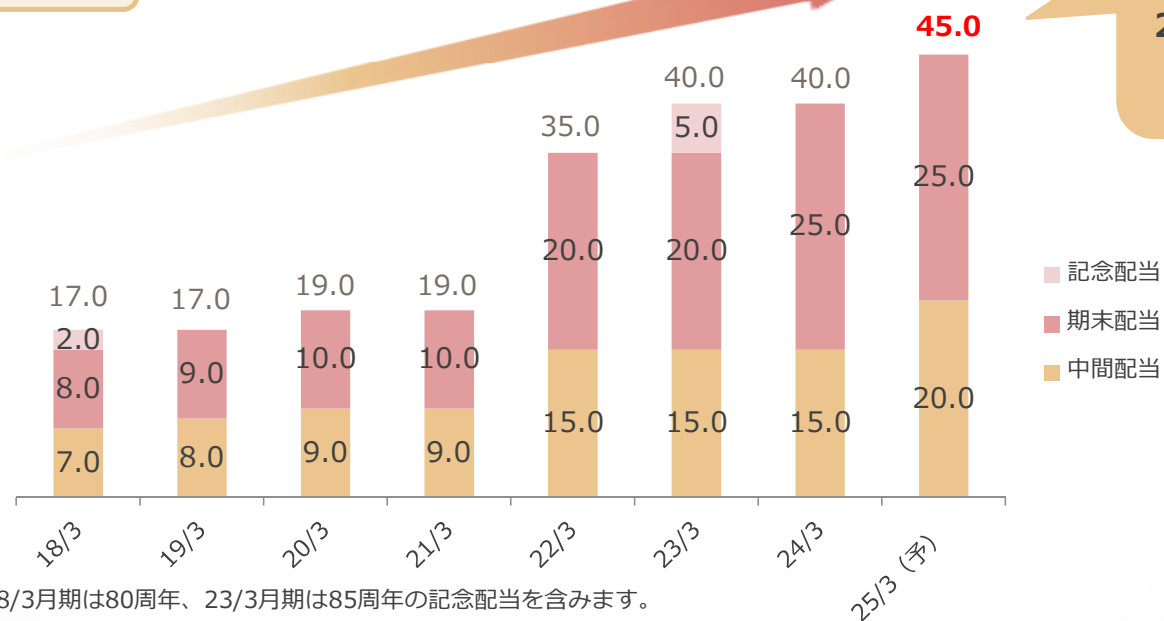
基本方針

- ・ 企業体質の強化
- ・ 内部留保の充実
- ・ 安定的かつ継続的な利益還元

最重要課題

M&Aや営業拠点の整備などの成長投資、有利子負債の削減等財務体質の充実強化。

配当について

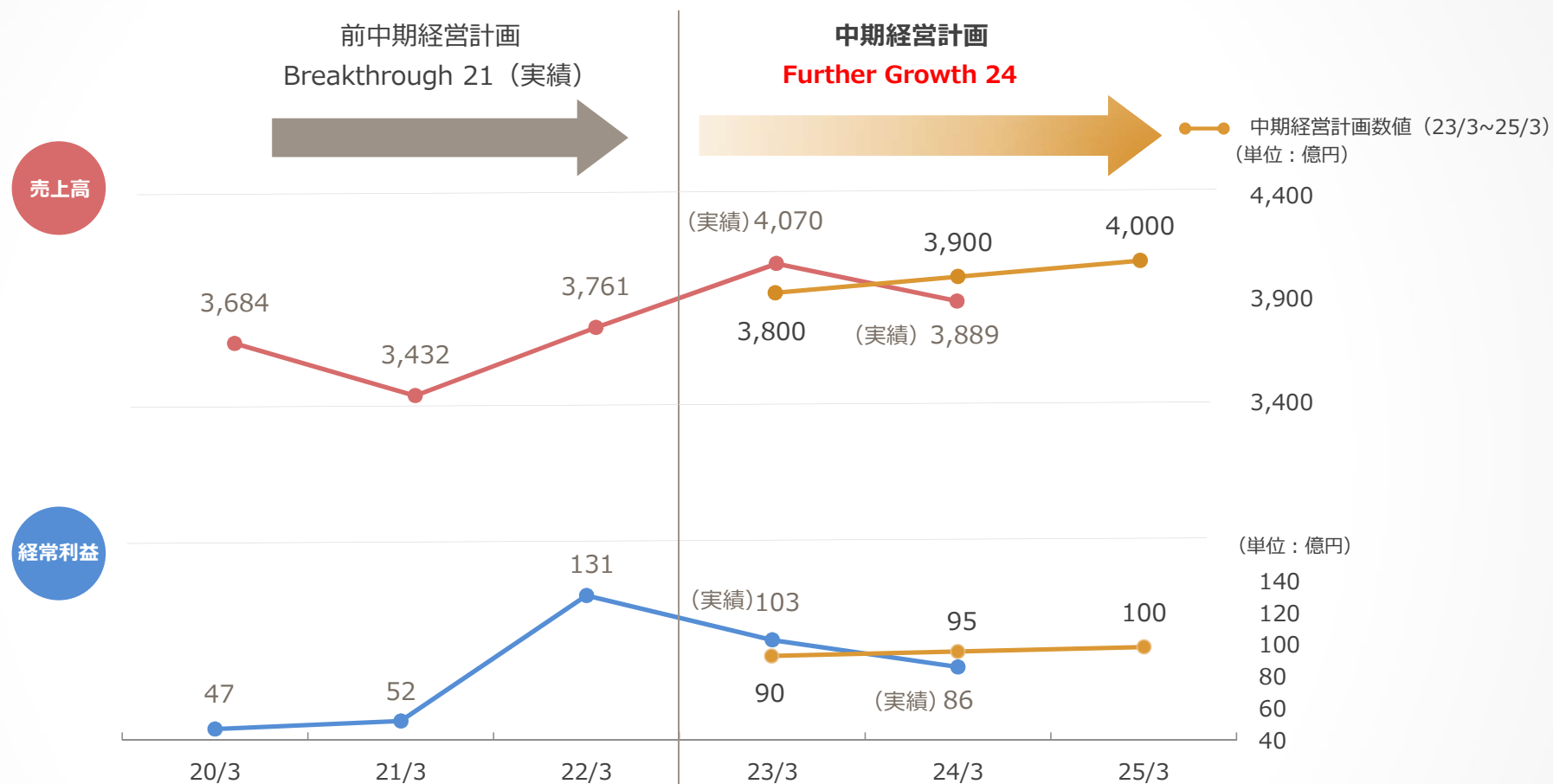


5年前より2倍以上に！
2024.11.1時点の株価で
は利回り約4.5%！



中長期経営計画について

(1) 中期目標 – 売上高と経常利益



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期以降の各数値(実績・計画)については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 中期経営計画重点施策①（持続的成長を目指した連結経営基盤強化）



JK Holdings Co., Ltd.



重点施策

- 次世代人材育成
- ダイバーシティ・インクルージョン推進
- ポートフォリオマネジメント
- グループ共通基盤の構築を目指したIT投資
- コーポレートガバナンス、コンプライアンス強化

主な取組内容

■ダイバーシティ・インクルージョン推進

- 2030年度までに女性管理職の比率を3.0%にすることを目標とし、女性管理職の積極登用を行う
- ダイバーシティ・インクルージョン推進課（D & I 推進課）の新設（2023年10月より）
- JKホールディングスのすべての従業員が自身の能力を発揮し、多様な従業員が活躍できるより良い企業風土の醸成とエンゲージメント向上を目的とした「JK-DIALOG 2024」プロジェクトを実施（2024年10月より）

■グループ共通基盤の構築を目指したIT投資

- ジャパン建材㈱に続き、JKHDグループ会社に販売管理システム『ASview』を導入し、グループ会社間のデータ連携による業務効率の向上やデータの一元管理による生産性の向上を目指す
- 導入実績：2社（総合建材卸売事業）

■コーポレートガバナンス、コンプライアンス強化

- 取締役会の下部組織として「経営会議」を新設
- 株式報酬の導入および役員退職慰労金制度の廃止

※赤文字は2025年3月期の取り組み事項

(3) 中期経営計画重点施策②（コア事業における競争力強化）



JK Holdings Co., Ltd.



重点施策

- D Xを活用した物流効率化
- M & A、事業承継を通じた拠点整備
- 取引先様へのサービス深化、高度化

主な取組内容

- D Xを活用した物流効率化
 - 中核会社であるジャパン建材(株)にて「物流最適化」を実施すべくプロジェクトチームを発足し、他社との協業を含め、当社グループにおける最適な物流網を構築していく
- M & A、事業承継を通じた拠点整備
 - 太平洋建材(株)（大阪府大阪市）の株式取得
 - (株)イタヤおよび(有)コスモランバー（新潟県南蒲原郡）、LMIグループ(株)（東集事業）からの事業譲受
 - グループ会社の組織再編
 - (株)KEY BOARD（クロカワベニヤ(株)との合併）、
 - (株)ハラコー（(株)ジェイ・ウインズとの合併）（2024年10月1日付）

※赤文字は2025年3月期の取り組み事項

太平洋建材(株)のM&A

2024年5月31日付で、JKHDにて太平洋建材(株)の株式を取得。大阪府を中心に、内装材・外壁材の販売事業を営んでおります。これまで当社グループであまり取り扱いのなかった商品が増えた事で、販売先の拡充となり当中間連結決算の「総合建材小売事業」の業績に貢献しております。

太平洋建材(株)

事業内容：内装材・外壁材の販売事業

拠点数：大阪3拠点



(太平洋建材(株) 本社/工具ショップ「元気島のもりたん」)



2023年1月13日付で(株)リビングライフ・イノベーションを設立し、
建築請負事業及びDX事業を運営しております。

DX事業において、2024年8月に住空間シミュレーションソフト
「Room Palette」の体験無料版を新たにリリースいたしました。

**誰でもリアルな3D空間を作成！！
実物インテリアを自由自在にコーディネートできる
空間シミュレーションソフト**

「Room Palette（ルームパレット）」は、図面やスケッチ等
から、簡単に空間立ち上げができ、リアルなイメージで魅力的
な提案からお見積りまでできるインテリア3Dソフトです。

「メーカー様」と「建築業者」そして「施主様」を繋げる
プラットフォームの構築を目指しております。

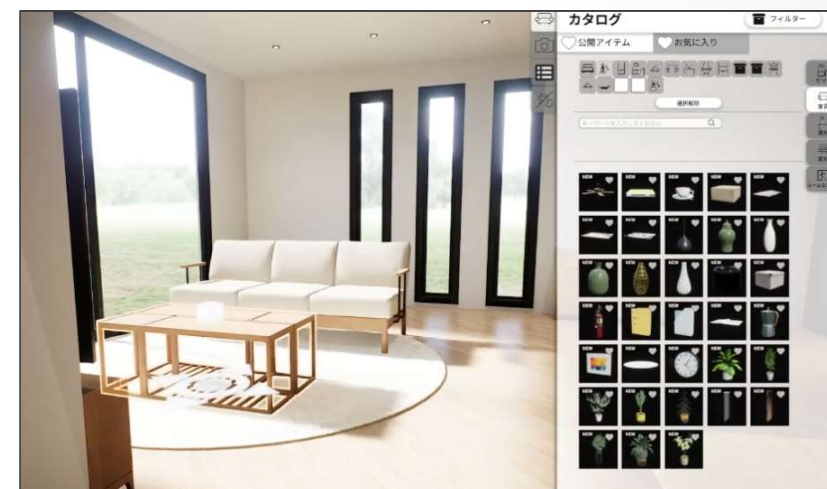
「施主様」は建材、家具、インテリアなどを自分で自由に選択
して完成形をシミュレーションする事ができるので、
「こだわり」を反映できるメリットがあります。



【Webサイト】



Room Palette



(4) 中期経営計画重点施策③（社会課題解決型ビジネスの推進）



JK Holdings Co., Ltd.



重点施策

- 循環型社会の構築に向けた取り組み
- 職人不足、高齢化への対応
- 後継者不在、経営者高齢化へのサポート

主な取組内容

■ 循環型社会の構築に向けた取り組み

➢ サステナビリティ委員会の取り組み

- ・ 気候変動リスク・機会に対する当社戦略の策定
- ・ GHG排出量の削減目標の設定と進捗管理

2023年度のGHG排出量データについて、第三者検証を取得。より信頼性・透明性の高いデータを開示することが可能に。

- ・ ジャパン建材(株)において、より効率的な独自の環境マネジメントシステム（EMS）を構築

➢ ジャパン建材(株)において、プライベートブランドの「J-GREEN製品」、「森林認証材」等の販売先への伝票（納品書等）に「炭素貯蔵量」を表示

- ・ 炭素貯蔵量表示システムの名称を「TanChO（たんちょ）」と命名
- ・ 炭素貯蔵という概念を普及するため、マスコットキャラクター「たんちょ君」も作成

※赤文字は2025年3月期の取り組み事項

ジャパン建材(株) 「炭素貯蔵量」を伝票等に表示①

ジャパン建材(株)は、環境貢献度の“見える化”の一環として、2023年11月より「J-GREEN製品」および「森林認証材」の炭素貯蔵量を伝票等に表示しています。

商品ごとの炭素貯蔵量を表示することで、環境貢献度を、目に見える形で分かりやすく、お客様と共有します。

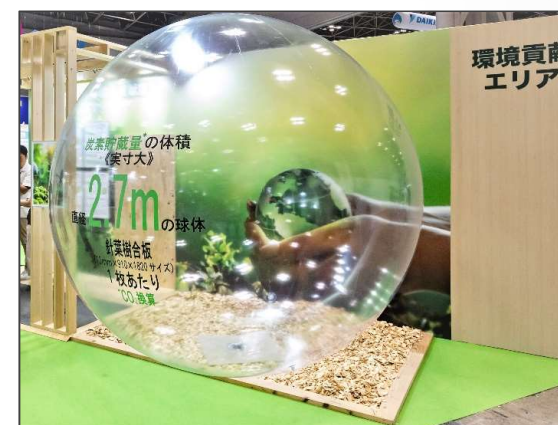
<伝票への表示例>

《伝票等への表示例》

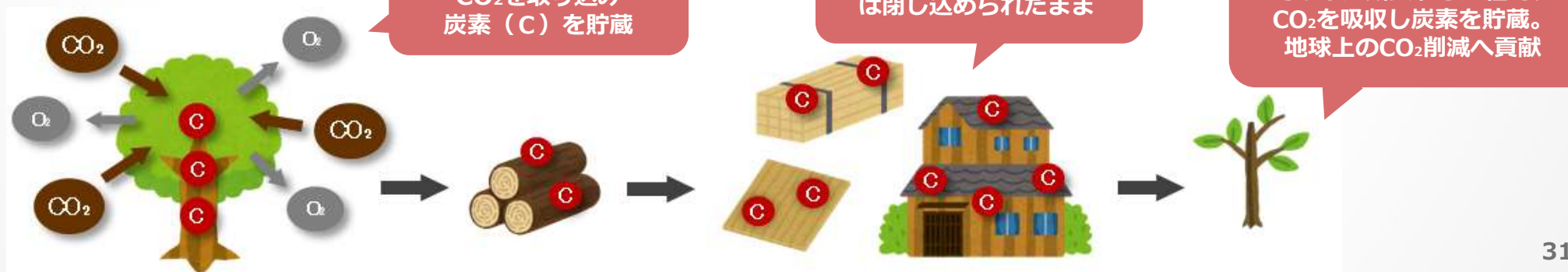
行	商品番号 / 商品名	数量
1	J-GREEN 構造用合板特種2級F☆☆☆☆ 針葉樹 全層国産材 12.0x910x1820 [19.5kg-CO ₂]	100.00 枚
2	J-GREEN [19.5kg-CO ₂]	100.00 枚
3	J-GREEN [18.9kg-CO ₂]	100.00 枚

商品1単位あたりの炭素貯蔵量 19.5 kg-CO₂

<19.5 Kg-CO₂の炭素貯蔵量の実寸大（直径2.7m）>



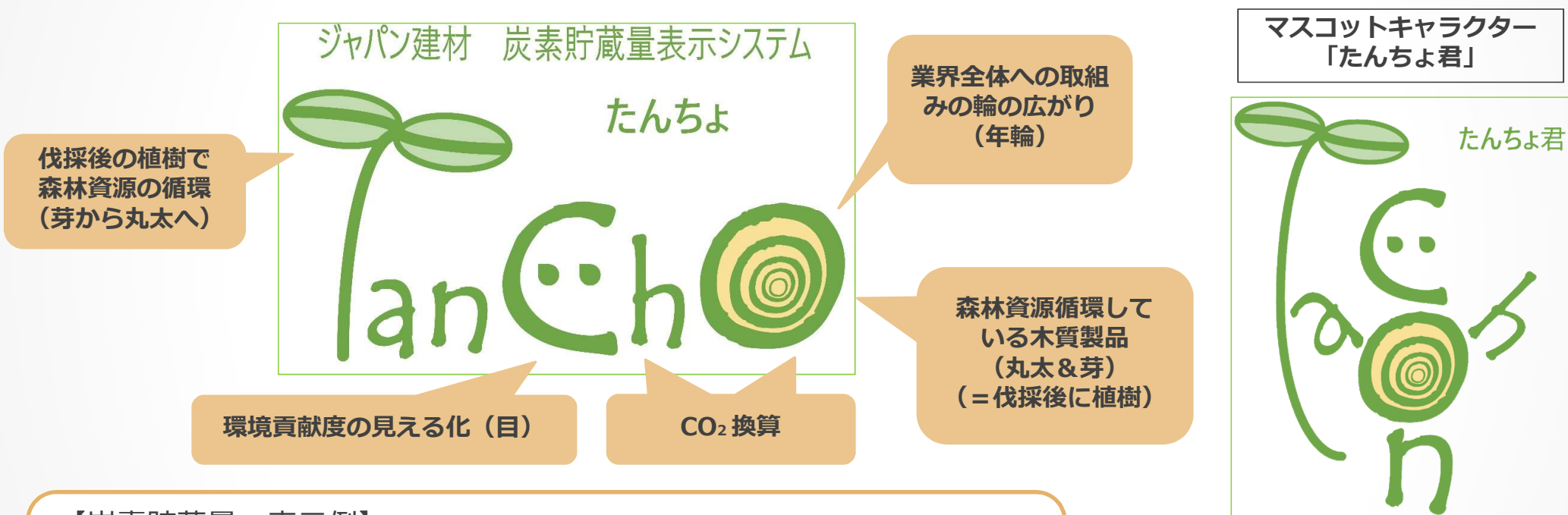
<炭素貯蔵の仕組み>



ジャパン建材(株) 「炭素貯蔵量」を伝票等に表示②

「炭素貯蔵量」を通じた環境貢献をお客様と共有しやすくするため、炭素貯蔵量表示システムの名称を「**TanChO (たんちょ)**」といたしました。また、2023年11月よりスタートした業界初の取組みを社内外で浸透を図るため、マスコットキャラクターとして「**たんちょ君**」も作成しました。

本取組みを業界全体へ広げ、地球温暖化防止へ貢献していきたいという思いが込められております。



【炭素貯蔵量 表示例】

<J-GREEN 合板>

・全層国産杉 構造用合板	12x910x1820mm	100枚/山	1.95 t-CO ₂
・国産桧 普通合板	4x910x1820mm	140枚/山	0.91 t-CO ₂

構造用合板4山の炭素貯蔵量は3世帯の年間CO₂排出量と同じくらい

環境省2022年度データ：1世帯の年間CO₂排出量＝約2.59 t-CO₂

※「〇〇t-CO₂」は商品1山、1BLあたりの炭素貯蔵量。炭素貯蔵量は、林野庁の「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」にもとづき独自に算定したもので、その数値が保証されるものではありません。



未来のために 人にも 環境にも もっとやさしく

ジャパン建材は合板・木材を中心とする木質素材のエコブランド『J-GREEN』事業を促進することで、資源循環型社会への貢献を目指します。
合板・木材を販売する会社として適切に管理された森林資源の利用促進と環境配慮型製品の普及に向けて取り組んでいます。

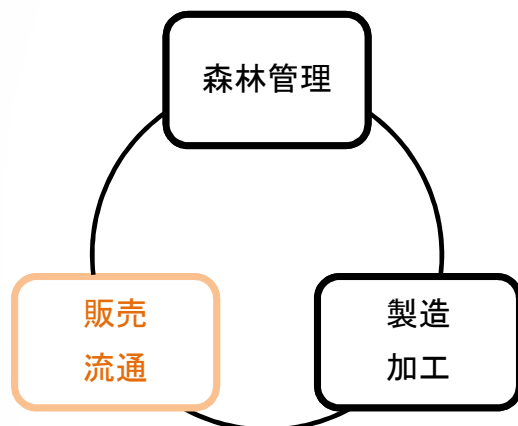
2つの選定基準

①合法性などに配慮した製品

森林認証を取得している製品や、使用されている木材が適切に管理されている森林から出材していると証明された製品を採用しています。

②環境にやさしい製品

植林木や間伐材を使用した製品を積極的に採用することで、森林の健全な育成を推進している製品を販売します。



前年比
115%

(百万円)	2023年9月期	2024年9月期
売上高	1,762	2,028
合板	1,499	1,635
木材	263	393

合板・木材ともに「販売単価」は下がっている一方、「販売数量」は増加しており、売上高は増収となりました。



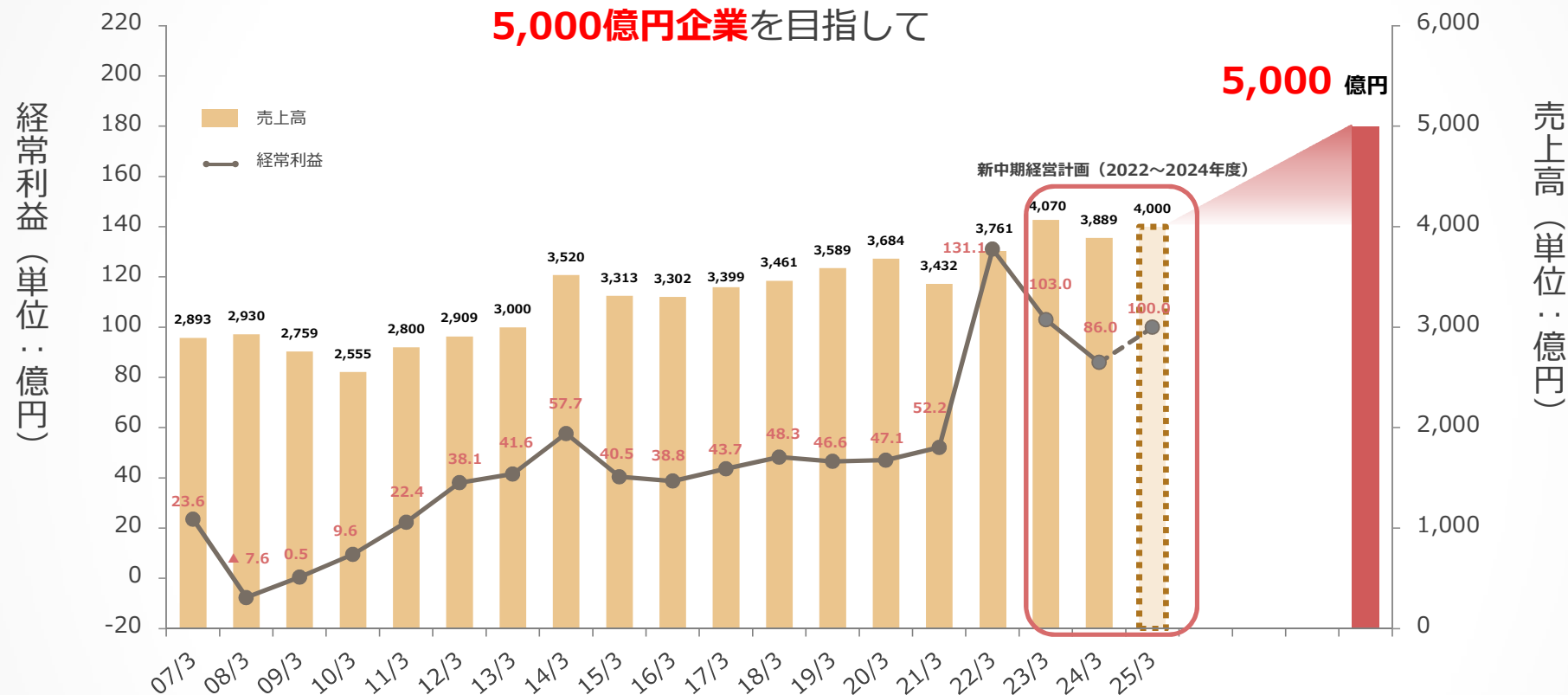
(5) 長期経営目標



JK Holdings Co., Ltd.

Brand - New JKHD 2030

5,000億円企業を目指して



< 経営陣から投資家の皆様へ >

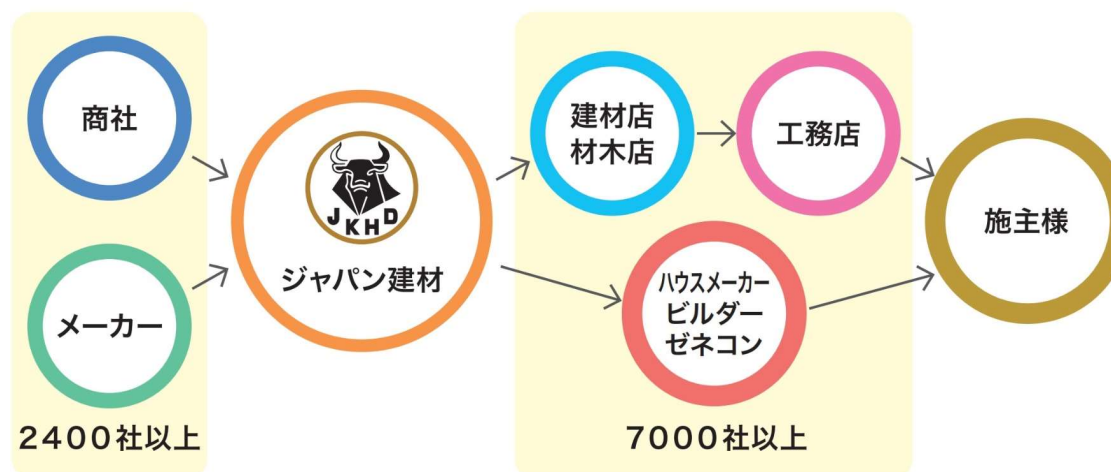
業界の変化に対応しつつ、企業価値の向上を目指します。
創造性と挑戦心を持って、事業領域の拡大、深耕を進めていき、
グループ企業の連携を深め、業界ダントツNO.1グループへと成長していきます。



補足資料

総合建材卸売事業の概要

住まいづくりに必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



・素材

合板・木材・石膏ボード・断熱材

・外装・サッシ

外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア

・内装材

床材・建具・収納・階段

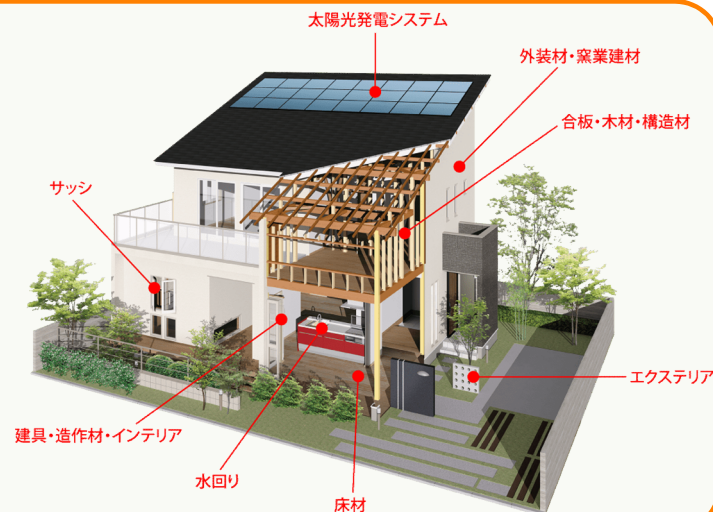
・水廻り

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ

・省エネ機器

太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート

…etc.



第45回 ジャパン建材フェアの開催

ジャパン建材株式会社



2024年8月22日・23日に「第45回ジャパン建材フェア」を東京ビッグサイトにて開催。

テーマは昨年同様、「ROAD to 2030 つなぐ今 つなげる未来」。サステナブルな取り組みや資産価値を高める家づくりの提案（高気密、高断熱）などをアピールする展示や有名講師によるセミナーの実施、200社以上に及ぶ建材・住設メーカーによる展示をして、住宅業界の最新情報に触れる場を提供することができました。

実績	
売上高	300億円超
動員	15,000名超



ジャパン建材の
強み

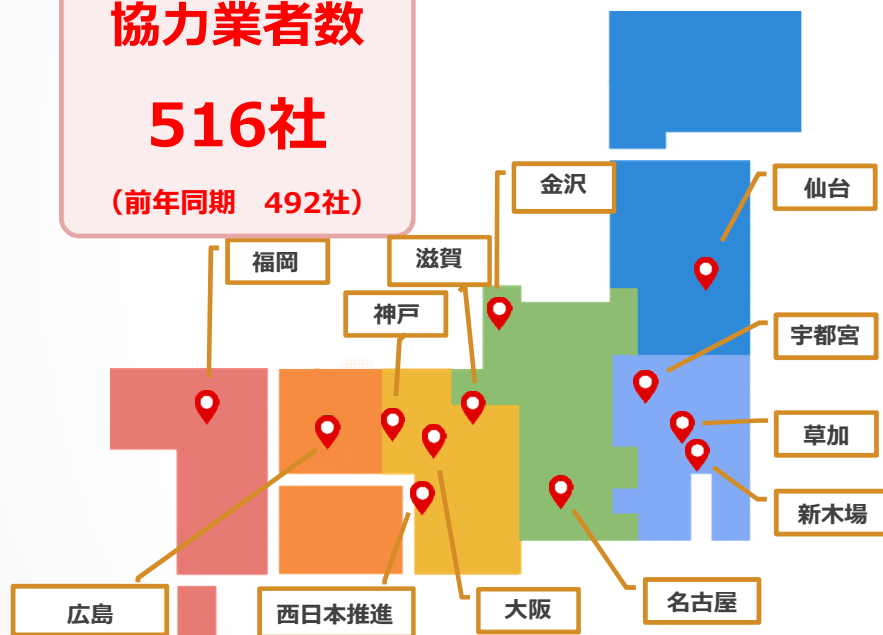
水廻りの施工品質の維持向上を図るとともに、水廻り以外の工事提案の強化および工事機能の向上を実現することで、企業価値を高め、競合他社と差別化を図ります。

施工ネットワークを構築

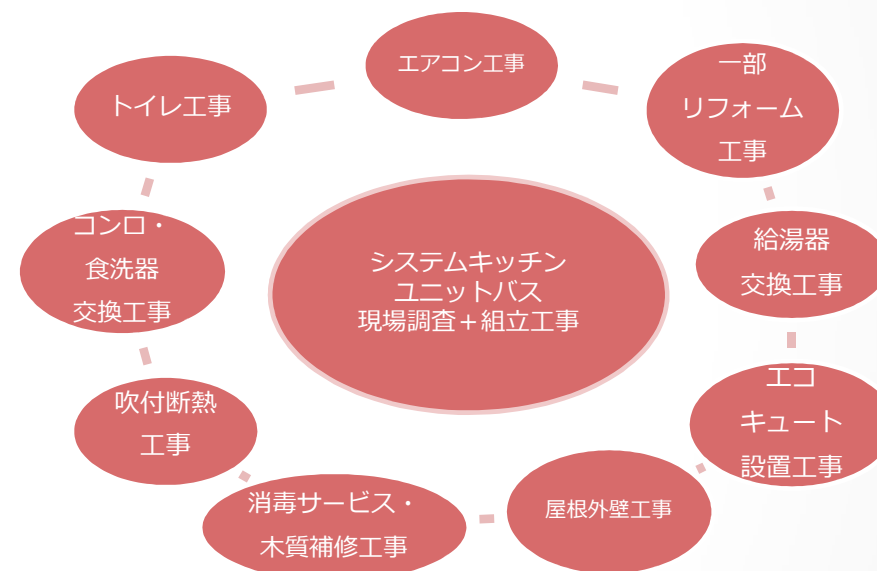
協力業者数

516社

(前年同期 492社)



JKエンジニアリングは12拠点のネットワークで全国を網羅しています。



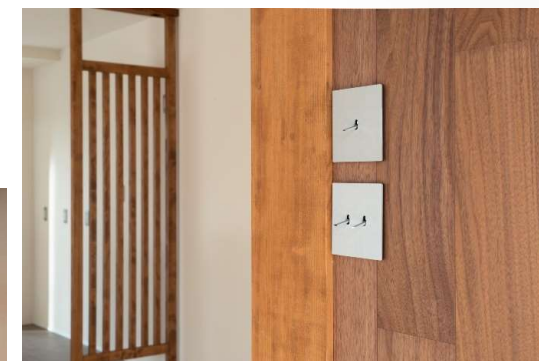
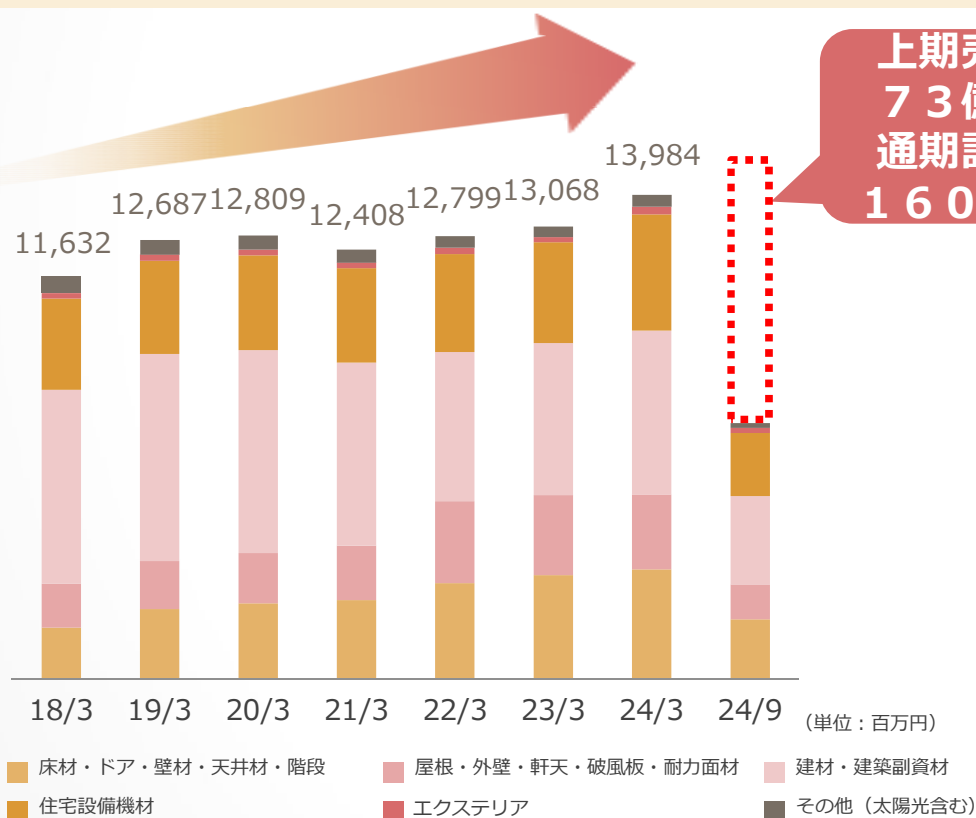
	売上 (千円)	依頼台数 (台)
2024年9月期	369,177	6,520
2023年9月期	370,207	6,602

PB商品Bullsの販売状況



JK Holdings Co., Ltd.

Bullsの取り扱いカテゴリ数は約690あり、売上高は上期で73億円を突破、今期計画である160億円に向けて順調に売り上げを伸ばしています。Bullsが目指しているのは「地続きの進化」。建材商社として長年培ってきた経験を活かし、あらゆる面でお客様のニーズに沿うよう今後も新商品の開発に努め、多様化するライフスタイルに寄り添う製品を提供致します。基本にあるのは「見える部分はもちろん、見えない部分にもこだわる」モノづくりです。「快適な住まいと豊かな暮らし」に貢献するため、これまでの歩みを今まで以上に大切に、これからも挑戦し続けて参ります。



JK 木造建築グループの取り組み

グループスローガン
「森のめぐみをかたちに つなげる未来」

売上100億（※1）を目標とし、木造建築分野を広くカバーする当グループは、さまざまな規模の非住宅案件に注力しています。（※1 JK 木造建築グループ 非住宅案件売上）

① ジャパン建材 岡山県久米南町役場



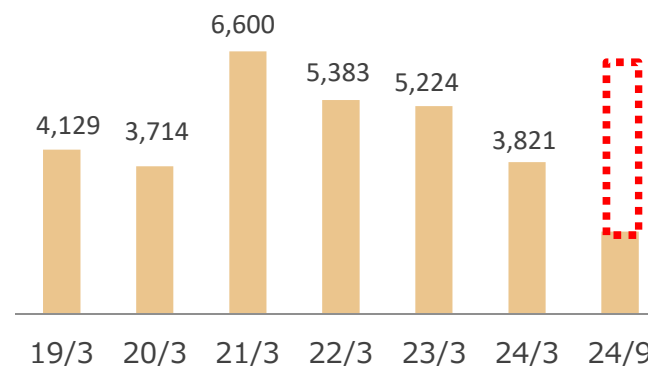
② キーテック 山形県立新庄病院



③ JK 木造建築グループ 構成



④ JK 木造建築グループ 非住宅案件売上



上期売上
20億円
通期予想
64億円

(単位：百万円)

J K 木造建築グループの取り組み



JK Holdings Co., Ltd.

(株)キーテック 豊洲 千客万来



豊洲市場の場外エリアに開設された「豊洲 千客万来」は、構造部や外装などの人目に付く場所に木材を効果的に利用しております。

キーテックのLVLが柱・梁などに利用されており、木造耐火建築物としては日本最大級となりました。



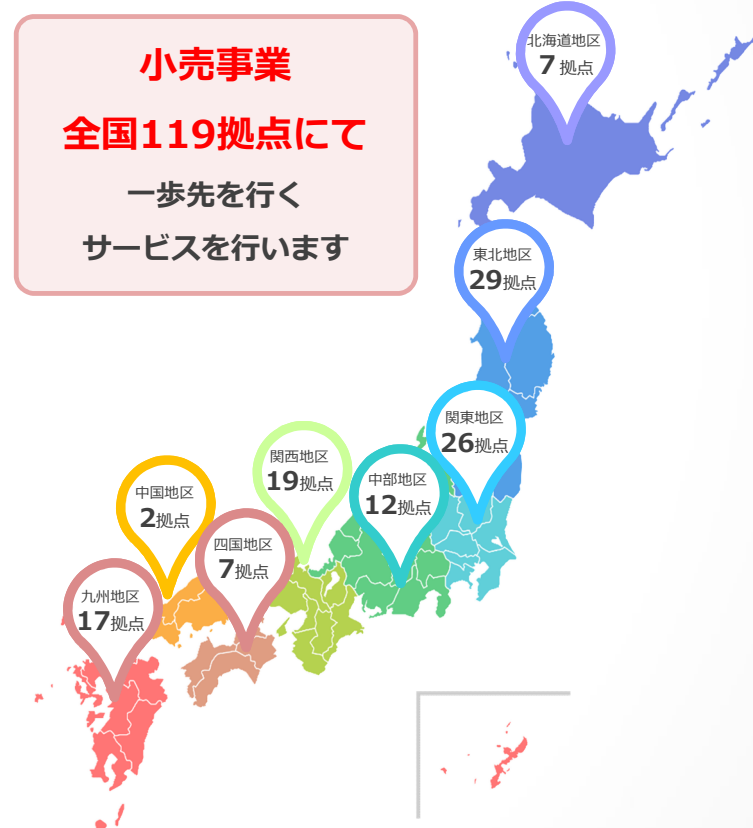
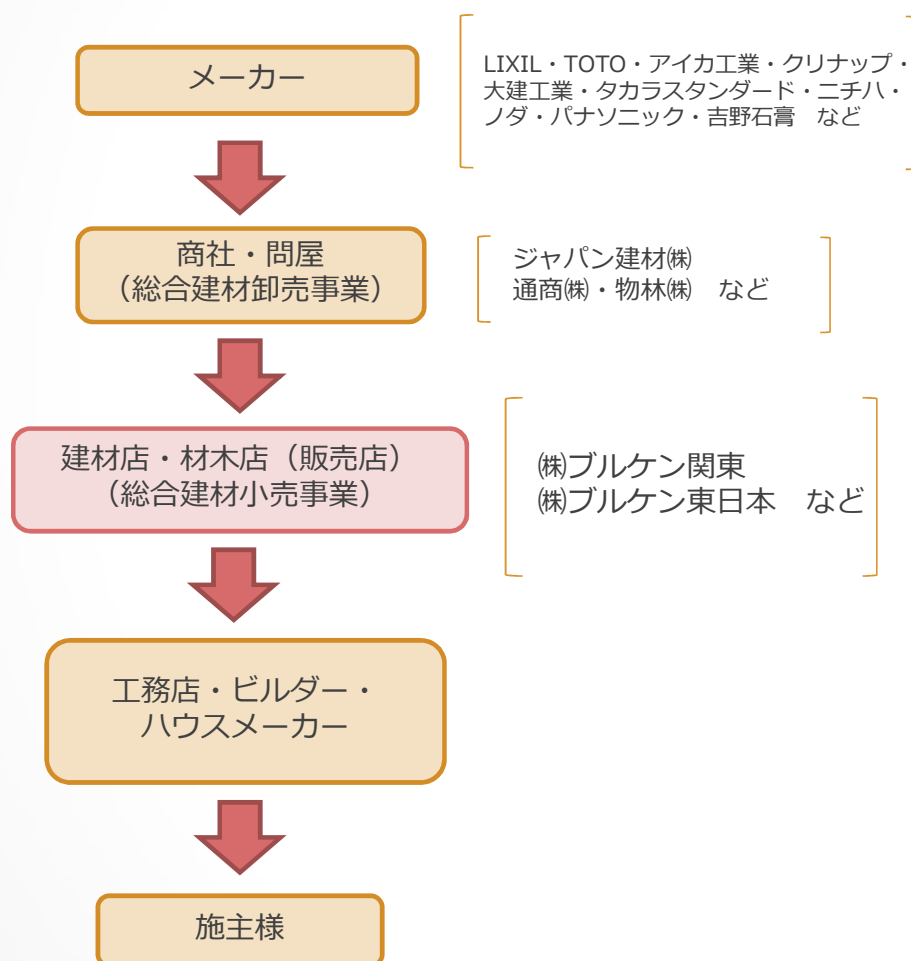
「提供：万葉倶楽部」

総合建材小売事業の概要



JK Holdings Co., Ltd.

合板、合板二次、建築資材および住宅機器等の小売事業は、全国各地に地域密着型の販売店を有し、建築会社、工務店など現場の需要に迅速に対応いたします。



地域活性化『よか良家プロジェクト』



JK Holdings Co., Ltd.

J K H Dグループの(株)ブルケン・ウエストが事務局となり、福岡県朝倉市にて地元工務店6社による地域活性化プロジェクトで、第一弾である『第1期 よか良家ヴィレッジ』は2023年8月にグランドフィナーレを迎えました。第二弾である『第2期 よか良家ヴィレッジ』は2024年11月2日にグランドオープンしました。地産地消で地域活性化を促し、朝倉市の魅力をさらに発信していきます。



朝倉市地域住宅活性化プロジェクト

よか良家プロジェクト



第1期 集客実績

来場組数：667組

来場者数：1,600名

第2期 集客目標

来場組数：800組



JKホールディングス株式会社